

キャリア教育単元計画

福山市立新市小学校

| 学年 | 第6学年 | 教科等 | 総合的な学習の時間 | 単元名 | 未来へ伝統をつなげる | | | | |
|-----------|-------------|--|---|--|------------|---|-----------------------|------------------|---------------|
| 連携企業等 | クワイ農家(地域)の方 | | 単元時数 | 全35時間 | | | | | |
| 単元のルーブリック | 評価の観点 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体性 | | | | | |
| | 資質・能力 | 自己表現力 | チャレンジ&チェンジする力 | チャレンジ&チェンジする力 自己理解力 | | | | | |
| | A | くわいを PR する方法を様々な視点から複数考えたり、自分の考えをより具体的に伝えたりすることができる。 | 自分たちの活動をふり返り、具体的な場面に応じた改善策を多様に考えている。 | 自分たちの活動に進んで取り組み、その中で自分の成長を感じ自信につなげようとしている。 | | | | | |
| | B | くわいを PR する方法を考え、自分の考えを伝えることができる。 | 自分たちの活動をふり返り、次の活動への改善策を考えている。 | 自分たちの活動に取り組み、自分の成長をみつめようとしている。 | | | | | |
| | C | 自分で課題に対する方法を考えたり伝えたりすることができない。 | 自分のふり返りで改善策を考えていない。 | 自分たちの活動に取り組みようとしていない。 自分の成長についてみつめようとしていない。 | | | | | |
| 次 | 時 | 学習活動 | 留意事項 | ○評価の観点 理・表・子は重点 知 思 主 | | | 評価方法 | 他教科等関連、 企業連携等 | |
| 1 | 1 | ○「伝統文化」と聞いてイメージできることを考える。 | ・言葉からイメージするもの、知っていることをウェビングで書き出し、たくさん意見が出せるようにしていく。 | | | ○ | ノート 発言 | | |
| | 2 5 | ○考えた中で、自分たちの興味のあるもの、身近な「新市」にあるものについて考え、調べる。 | ・インターネットなどで調べたり、家の人に聞いたりして、興味をもてるようにする。 | ○ | | | ノート 行動観察 | | |
| | 6 7 | ○自分の調べたことを発表する。 | ・「スタディ&マナー」を参考にし、自分で発表方法を考える。 | ○ | | | 発表 | | |
| | 8 | ○くわいについて、わかったことを交流する。 | ・自分たちで調べて分からなかったこと、課題点などを整理し、くわいを植えるときに質問できるようにする。 | | | ○ | 発表 ノート 発言 行動 | | |
| | 9 10 | ○地域の人に教えてもらってくわいを植える体験をする。 | ・世話についてなど、自分たちが調べてもわからなかったことを質問する。 | | | | 子 ○ | 行動 発言 ふり返り | 出前授業(クワイ栽培農家) |
| | 11 12 | ○くわいの世話をする。 (草取り・肥料) ○くわいの観察をする。 | ・くわいを植えたときに教えてもらったことを実践できるようにする。 | | | ○ | 発言 行動 | | |
| | 13 14 | ○くわいが収穫出来たらどうするのか、これから学習していくこと | ・くわいを育てている人が減っていることなど、話を聞いたことを | | | ○ | 発言 ノート | | |

| | | | | | | | | |
|---|---------------|--|---|--------|--------|---|-----------------------------------|---|
| | | について考える。 | 想起し、自分たちが学習することへの課題意識をもてるようにする。 | | | | | |
| | 15 | ○学習のゴールを話し合って決める。 | ・活動のみにならないよう、どういう気持ちで学習をしていくのか意識の統一を図る。 | | ○ | | 発言 ノート | |
| 2 | 16 17 | ○福山で有名なくわいをアピールしていくためには、どんな方法がよいか考える。 ○アピールする方法 ・リーフレット・キャラクター ・メニューの開発 ・紙芝居 ・PR 動画 など ○アピールする相手 ・全校のみんな ・地域の人 | ・修学旅行で訪れた観光地について考え、リーフレット作りなどの参考にする。 | | ○ | | 行動 発言 ふり返り 各グループの 成果物 | 国語科 「日本文化を発信しよう」 英語科 「 This is my town.」 |
| | 18 ~ 23 | ○くわいを PR する活動の準備をする。 | ・リーフレット作成では国語科との関連を図る。 | 表 ○ | ○ | | 行動 発言 ノート | |
| | 24 25 | ○くわいを収穫する。 | | | | ○ | 発言 ふり返り | |
| | 26 ~ 32 | ○作成したのを見てもらったり、配ったりする。くわいを販売する計画をし、実践する。 | ・相手意識・目的意識を明確にする。 | ○ | | | 発言 発表 ノート | |
| | 33 | ○今までの活動を振り返り、成果・課題・改善策を考える。 | ・自分たちのふりかえりだけでなく、アンケート調査など客観的な視点を取り入れるようにする。 | | チ ○ | | 発言 ノート | |
| | 34 | ○自分自身の成長を考える。 地域のために、さらに自分たちにできることは何かを考えたり、自分の成長について考えたりする。 | ・ふり返りから考えるようにする。 ・これまでの学習を振り返るとともに、3学期の卒業に向けて、お世話になった方々に感謝の気持ちをもつとともに、自分たちが地域のためにできることをや | | | | 理 ○ | 発言 ノート |
| | 35 | ○学習のまとめをする。 | って卒業しようという意識をもたせる。 | | ○ | | 発言 ノート | |

【6月 くわいを植える】



【収穫】



【各教室にお知らせ】



【くわい販売】

